

今、変えよう!

あなたの声が市政を動かし、変える

「社会的な問題の解決、これを税金で、公務員が、行政がやらなければならない時代はもう終わっていると思う」(2020年9月)。自治体の公的責任放棄の市長訓示です。「終わっている」のは市長あなたです!「市民の役に立つ所」が市役所です。そういう市役所を求めてがんばります。政治の主役は市民のみなさんです。

こんにちは

日本共産党
市会議員

井坂博文

です



ムダな北陸新幹線も

豪華すぎる京都市役所も

いらない!



日本共産党市会議員団は、今の京都市財政と市民生活のもとで、市役所の建替えにあたっては、耐震改修や職員の執務環境改善は必要だが、豪華なしつらえにしないこと、建設費は可能な限り縮減すること、地下通路(13億円)や茶室、庁舎の一部に民間店舗を引き込むなどは不要であることを指摘し、建替議案と予算に関しては市議会の中で唯一反対してきました。一方で、議場の改修については、バリアフリー化された以外は、天井や壁紙などももとの構造と変更がないことから必要な改修です。

9月市会本会議質問、 総括質疑で市長を追及

本会議質問(9月30日)

コロナ感染症拡大防止へ命最優先の対策、「行財政改革計画」を撤回し市民参加の計画の策定、ジェンダー平等推進局の設置、気候危機の打開、北陸新幹線延伸計画の中止、核兵器禁止条約の早期批准、などを求めました。市長や副市長は、「その指摘は当を得ない」と開きなおったり、質問した内容には答えずはぐらかしたりして、まともな論証なしに「その提案には応じられない」などの答弁に終始しました。



市長総括質疑(10月19日)

市長の「サービス維持に重きをおいて不断の見直しチェック不足と、市民への説明不足を反省している」との答弁を追及し「本当に反省すべきは、身の丈に合わない過去の大規模投資事業と市債発行」と質しました。副市長は「投資は後の世代にも効果発揮されるから借金してもいいが、限度なしにしたのは反省」と言わざるを得ませんでした。「ならば北陸新幹線延伸計画の中止を」と求めたところ、市長は「適正な投資は必要」と計画に固執しました。

市長がすすめる 府市一体で 推進 大型公共事業

- 1 北陸新幹線延伸
総事業費2兆1000億円以上
- 2 堀川・油小路地下バイパス
普通道路事業費1200億円
- 3 1号線バイパス
- 4 9号線バイパス
- 5 環状ネットワーク

私は、今後も必要な見直しを提案し、市長に経費の縮減を求めます。それとともに、最大のムダ使いは、府・市協調による大型公共事業です。過大な「財政危機キャンペーン」を口実に、市民に負担増や市民サービス切り捨てを押しつける「行財政改革計画」の撤回を求めて全力をあげます。